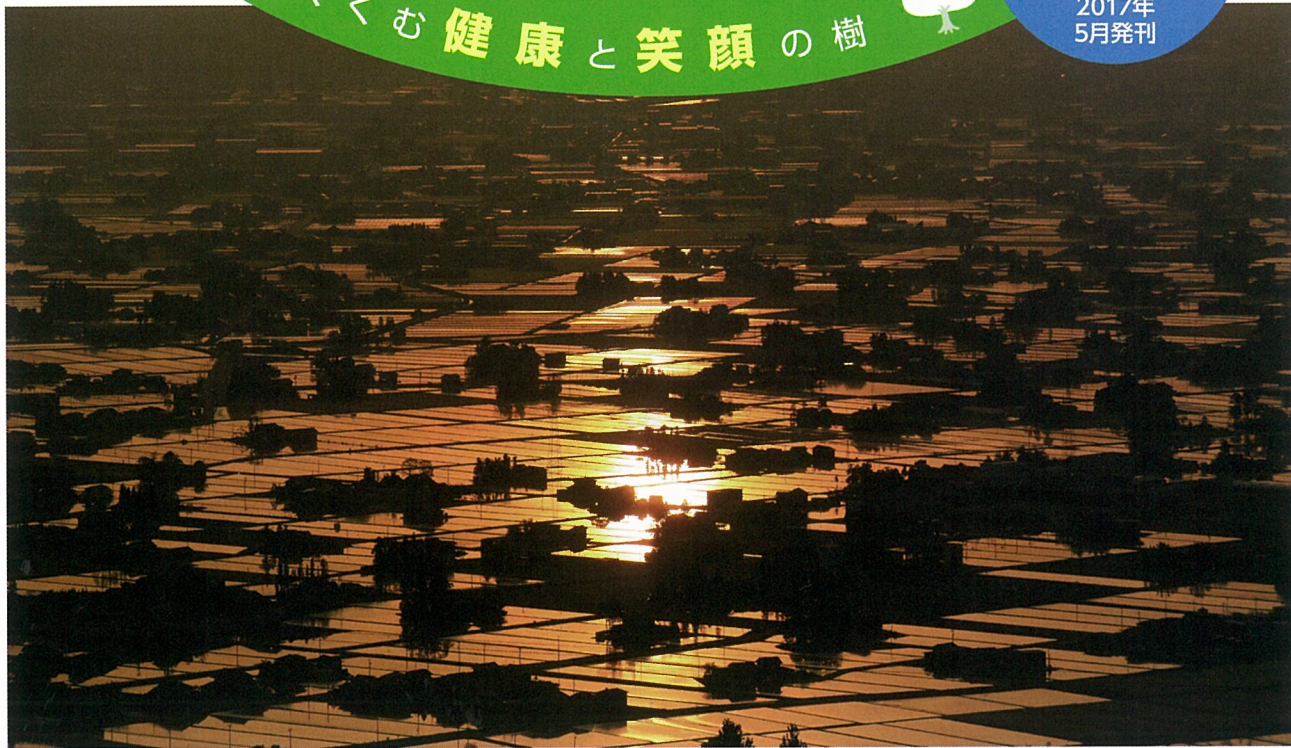


くすのき だより

心ではぐくむ健康と笑顔の樹

VOL.
26

2017年
5月発行



砺波散居村夕照(写真/山本 富夫)

地域で支える医療を目指して

富山県済生会富山病院 院長 井上 博

トピックス

- 新年度の抱負「地域で支える医療を目指して」
- 対談 院長 井上 博×がん看護専門看護師 久保田 恵
- 12年目新潟中越沖地震のエコノミークラス症候群
フォローアップ検診を経験して
- 新生児蘇生法講習会開催
- 市民公開講座
 - 健康障害を抱える人々の生活の質の向上を目指して
 - 満員御礼! 血管病 市民公開講座@キラリ
- 私達の職場
 - 泌尿器科 ● 総務課
- 患者さん満足度調査の結果
- 新任自己紹介
- 無料・低額診療事業について
- 済生会について
- 理念・基本方針・
患者さんの権利宣言
- 平成28年度ご寄付のお礼



新年度の抱負

『地域で支える医療を目指して』



院長 井上 博

当院が平成9年1月に安住町から現在の楠木に移転して以来、今年で丸20年が経ちました。この間、富山市北部の中核病院として質の高い医療の提供に努めてまいりました。

医療をめぐる環境は大きく変貌を遂げようとしています。わが国は超高齢社会に突入し、富山県では65歳以上の高齢者が県民の30.5%を占めるに至っています(平成27年国勢調査)。8年後には団塊の世代(昭和22～24年生まれ)の全員が後期高齢者(75歳以上)になり、医療・福祉の在り方の早急な見直し、対策が喫緊の課題となっています。このような変革期に当たり、当院としても地域の皆さんの期待に応えられるよう、対応していきたいと考えております。

当院の大きな柱である脳卒中、心臓病、整形外科に関しては、これまで以上に質の高い診療を心がけますが、急性期の患者さんばかりではなく、回復期の医療に関しても力を入れてまいります。その一環として、昨年8月には地域包括ケア病棟を設置いたしました。他の病院・診療所・介護施設と今まで以上に密接な連携をとり、急性期の診療から退院後のケアまでを包括した、診療体制の充実を目指します。そのため、平成19年以降中止していた訪問看護の再開に向けて準備を始めます。

昨年10～11月に、外来・入院患者さんを対象に、満足度調査を行いました。貴重なご意見をたくさんお寄せ頂き有難うございました。頂いたご意見の中から、今年は特に以下の事項に重点的に対応したいと思います。まず1つ目は、外来の待ち時間です。予約制にしているにも関わらず、お待ちいただく時間が長く、ご不便をお掛けしていることがあるようです。ご不便をお掛けしない診療の流れを工夫したいと思います。2つ目は、入退院センターの設置です。入院、退院されるときに、様々な説明、書類の受け渡しなどの手続きがあります。これを一か所で行う体制にして、利便性の向上を図ります。3つ目は、断らない救急体制の整備です。4月から内科医師が増えますので、内科疾患に関しては、二次輪番日や時間内の救急対応でご迷惑をお掛けしない体制を構築いたします。

本年も、地元の皆さんに信頼される病院として、職員一同頑張りたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。



対談

conversation

院長 井上 博



がん看護専門看護師
久保田 恵



専門看護師は、日本看護協会認定の資格で、がん看護、精神看護、老人看護など11分野あり、複雑で対応が困難な課題を抱える患者さんや家族に対して、必要な看護や関わりを考え、様々な施設や職種に働きかけます。また、看護の課題を探求し、研究成果を現場に還元することで、看護の質向上に貢献しています。

資格取得のためには、5年以上の実務経験があり、2年間大学院で学んだ後、認定審査に合格することが必要です。平成29年5月時点で、がん看護専門看護師は富山県で7名です。

今回は、当院で初のがん看護専門看護師に合格した久保田 恵さんと院長との対談です。

院 長:なぜ、がん看護の専門看護師に進もうと思ったのですか?

久保田:がん患者さんと関わる機会が多く、上手くケアできていないと悩んだりすることがありました。研修に行かせてもらい、認定、専門看護師の方々と出会い、自分自身も知識を増やしたいという思いで目指しました。がん領域の認定看護師は取得していませんが、専門看護師はがん看護をトータルで見ることができるので、専門看護師を目指しました。

院 長:大学院での生活は、どのような感じでしたか?

久保田:講義は週に8~12時間程で、実習になると、まとめて数週間ありました。空き時間は、勉強時間に充てたり、看護学

生の実習のお手伝いをしていました。自分の看護を振り返るいい機会になったと思います。がん専門分野の同期はいませんでした。他の分野の院生から違った視点で意見をいただけたので、いい刺激になりました。

院 長:実務経験を経た院生の視点は、看護学生のととは違うと思いますが、いかがでしたか?

久保田:自分が悩んできた事例をもとに、先生方とディスカッションする授業だったので、自分の中で整理をつけないまま日々の業務に流されていたところを、振り返りながら、意味づけをしていけたのでよかったです。

院 長:あなたにとって非常に有意義な大学院生活を送れたようですね。

院 長:がん看護専門看護師として、今後どのような働きを目指したいですか?

久保田:まだまだ「がん」というものを「死」に結び付けてしまう方が多いと思うので、そういう方々の支えになりたいです。また、その方その方の「生き方」を大切にしながら、寄り添っていきたいです。患者さんや看護師らと、何が一番ベストか一緒に考えて実践し、そして、看護師の実践能力を上げる役割を果たしていきたいです。



12年目新潟中越沖地震のエコノミークラス症候群

フォローアップ検診を経験して

臨床検査科 中川 夏輝

2004年に発生した新潟中越地震後に肺塞栓症(肺血管に血の塊が詰まる病気)が多発し、死亡例も確認されました。その原因には深部静脈血栓症(DVT;足の血管に血の塊ができる病気)の発症が関与しており、以降、エコノミークラス症候群として問題視され、早期発見と予防のために下肢静脈エコー検査、採血検査、弾性ストッキングの装着を行うようになりました。

そして、震災後12年経過した今でも、新潟県では柏崎市・十日町市・小千谷市の3箇所でフォローアップ検診を実施しており、今回、下肢静脈エコー検査要員として参加してきたので報告します。

当日の下肢静脈エコー検査は、臨床検査技師15人程度で、受診者は500~600人と非常に多く、1~2日かけて時間ギリギリまで行う程の大変な検診でした。実際に血栓を認めた人は10~12%程で、そのほとんどは以前から血栓を認めていた人でしたが、新規に発症した人もいました。この12年間の検診データから、数%程度にDVT発症患者が増加しているという結果が出ましたが、肺塞栓症による死亡者は出ていません。

肺塞栓症の原因となるDVTは、脱水(血液凝固能亢進)・下肢運動低下(血流停滞)・外傷(血管壁損傷)で出現しやすくなります。震災後には、水分不足や窮屈な場所で身動きが取れないような状況に長期間おかれるため、DVTを高率に発症してしまいます。現在の日本では、震災後のDVT予防は困難で、DVTを発症しても肺塞栓症を合併しない事が重要と考えられており、一般の方へのエコノミークラス症候群の啓発活動、弾性ストッキングの装着、エコー検査での早期発見と経過観察を徹底して行うようにしています。

その検査を専門的に行っている臨床検査技師は、今後の震災でエコノミークラス症候群予防に重要な役割を担っており、今後も検診に参加を続けたいと思います。



実際に下肢静脈エコー検査をしている写真です。



この検診で使用しているエコー機です。

新生児蘇生法講習会開催

産婦人科 部長 結城 浩良

1月14日(土)、当院において、新生児蘇生法講習会が開催されました。

「すべての分娩に新生児蘇生法を習得した医療スタッフが、新生児の担当者として立ち会える体制」の確立を目指し、日本周産期・新生児医学会の新生児蘇生法普及事業としてスタートした講習会です。

今回は、5階病棟のスタッフが中心となって受講し、新生児科専門医による講義を受けた後に、人形を用いた基本手技の実習・ケースシナリオによるシミュレーション実習を行いました。

インストラクターの指導の下、人工呼吸や胸部圧迫などあまり経験したことがない、非常に重要な蘇生手技を身につけることができました。

テキストで事前学習をしてきていましたが、頭の中で考えるよりも、より実践に近い手技を経験することができ、非常に有意義であったと思います。

講習会終了後に筆記試験が行われ、全員が合格点に達して「新生児蘇生法修了認定」の資格を得ることができました。今後は、新生児蘇生手技の振り返りや、復習を目的としたスキルアップコースを受講し、蘇生技術の質の維持・向上に努めてまいります。



市民公開講座

健康障害を抱える人々の生活の質の向上を目指して

副院長 亀山 智樹

10月16日に富山市民プラザで、市民公開講座を開催しました。今年度は、初参加の泌尿器科が、おしっこの話「ひとりで悩まないで！ 聞いてスッキリ!!おしっこの話」を、また、整形外科と人工関節センターが、後悔しない膝の治療の選び方「高齢者の膝の痛みについて」を、そして循環器内科と心臓リハビリチームが、心臓病と運動療法「心疾患とともに暮らす」をテーマに、医師、看護師、理学療養士、管理栄養士による講演を行いました。同時に、血圧、頸動脈エコー、呼吸機能測定、生活指導、運動などの体験コーナーも開催しました。

晴天にも恵まれ、多くの方に最後まで熱心に参加していただきました。特に初参加の泌尿器科の講演は、日ごろ相談しにくい尿の異常についてクイズ形式でわかりやすく解説し好評でした。

今後も各科・各職種協力し、「健康障害を抱え

る人々の生活の質の向上」を目指して済生会富山病院一丸となって取り組んでまいります。



市民公開講座

満員御礼! 血管病 市民公開講座@キラリ

脳卒中センター 脳神経外科 部長 久保 道也

2月26日、空は快晴。TOYAMAキラリホールは熱気に包まれました。当院の特色の一つであり、また積極的に取り組みを続けてきた、血管病(脳卒中・心血管病・糖尿病)対策についての市民公開講座が開催されたからです。270名を収容する会場はあっという間に満席となり、新たな席を追加で設けて、300名を大きく上回る市民の皆様にご参加いただきました。

医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士といった、当院で活躍中の多職種スタッフから、血管病の予防・対応・検査・治療・再発予防にいたるまで3時間にわたって講演が行われました。熱心にメモを取ったり、頷いたり、質問をしたりする姿を拝見して、市民の皆様の血管病に対する関心の高さを知ることができました。

当院は今後も、市民の皆様の視点を大切にして、最善の医療活動を提供し、こうした取り組みを続けてまいりますので、どうかよろしく願いいたします。



私たちの職場

泌尿器科

泌尿器科 部長 保田 賢司

2015年11月から常勤医師3名となり、診療体制を充実。外来診療は、月～金曜日の午前と月・水・木曜日の午後を2診体制で行っています。

手術日は、火・金曜日の午後です。緊急の場合は手術日でも可能な限り対応させていただいています。

また、超音波検査、排尿機能検査、造影が不要な画像検査などは当日に行い、スピーディーな診断と治療を心がけています。尿路造影や造影CTなどの画像検査、膀胱鏡検査は予約制で行っています。

取り扱う主な疾患は、尿器性器悪性腫瘍、腎尿管結石、前立腺肥大症などの排尿障害、尿路性器感染症や男性不妊症など一般泌尿器科疾患が中心です。一般的な泌尿器科手術のほか富山県内で唯一、男性不妊症患者さんに対して顕微鏡下精巣内精子採取を行う病院です。



2017年1月からは、新たに水曜日の午後に男性不妊症専門外来を設けて診療を開始しました。さらに、低周波干渉尿失禁治療器ウロマスターを導入し、腹圧性尿失禁や頻尿の治療を充実させました。泌尿器癌に対しては、治療後の患者サポートをがん性疼痛看護認定看護師や緩和ケア認定看護師と密に連携して診療にあたっています。

当科を受診される患者さんが、より安心して治療を受けることができるように泌尿器科スタッフ全員で日々診療に取り組んでいます。

総務課

総務課 課長 大浜 崇

総務課は、職員8名(うち兼務1名、臨時職員1名)で構成され、主な業務は、大きく「庶務」と「経理・財務」に分かれます。

「庶務」は、給与、社会保険手続き、労務管理、人事手続、福利厚生などを行い、一方、「経理・財務」は、社会福祉法人会計に基づき、日々の入出金管理、予算及び決算の作成、病院の資金管理など、幅広い業務を行っています。

また、当院は、臨床研修指定病院になっており、研修医が満足できる研修となるよう要望を聞き、各部署との調整を図るとともに、セミナーの開催や、研修プログラムの見直し等を行っています。

さらに、県内には他に、済生会高岡病院、なでしこ保育園があり、当院で富山県支部の統括業



務も行っていきます。主に、本部と施設間の情報の取次ぎ、支部理事会の開催や、3施設が集まる会議開催の企画、運営を行っています。

このように、多岐にわたる業務を少ない精鋭で頑張り、直接診療に関わる業務ではない代わりに、「総務課のお客さんは職員です」をモットーに、今後も職員の皆さんが、安心して働けるように努めていきたいと思っております。

患者さん満足度調査の結果

平成28年10月3日～10月5日実施 回答者数774人

当院は、患者さんやご家族にとって満足度の高い医療サービスの提供をこころがけています。このため、今後のサービス改善を図ることを目的に、定期的に患者さんの満足度調査を実施しております。

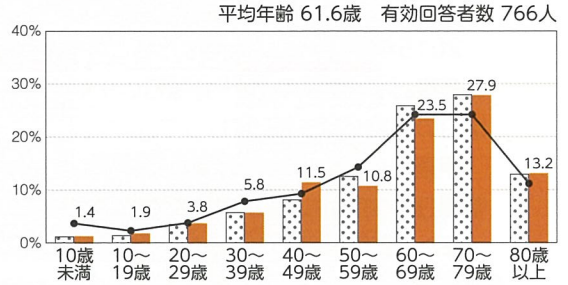
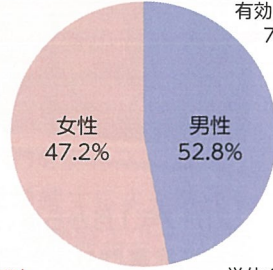
このたび、平成28年度の調査結果がまとまりましたので、報告させていただきます。

調査は、外来は3日、入院は2ヶ月間、アンケート用紙を配布し、ご回答いただいた結果を外部機関が集計し、当院の前年および他の調査病院の結果※を比較検討いたしました。

※「他の調査病院の結果」とは、当院が分析を依頼している調査研究機関がデータを有する病院（外来は全国の105病院（平均病床数394床）、入院は全国の86病院（平均病床数416床）と比較しています。）

1. 回答者の性別・年齢

男女比は、やや男性が多く、年齢は、平均61.6歳となっています。60代から70代が多い傾向にあります。



2. 診察待ち時間

（受付から診察までの待ち時間）

平均待ち時間は、57.2分と前回から8分長くなってしまいました。その約半数は30分以内となっていますが、80分を超える方は3割となっていました。引き続き、待ち時間短縮に対する職員の意識改善に努めてまいります。なお、予約率は約85%でした。

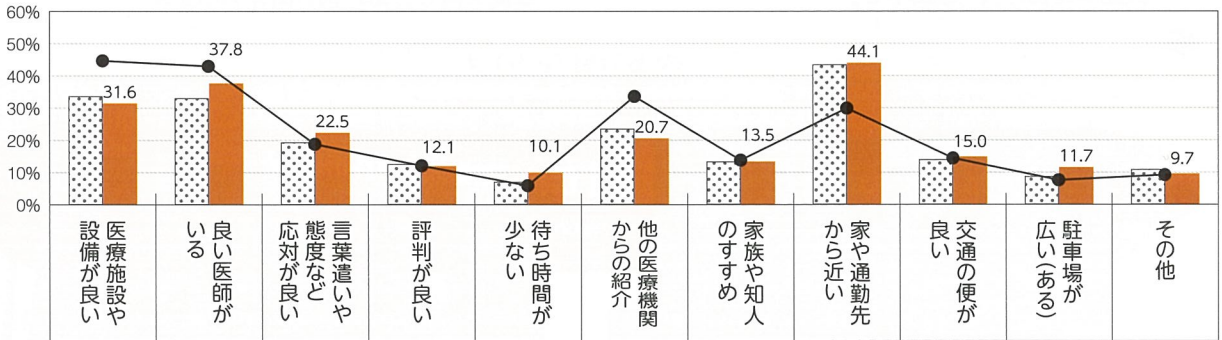
単位:%(複数回答) 当院(前回) 当院(今回) 調査病院平均値

	当院(今回)	当院(前回)
平均待ち時間	57.2分	49.2分
予約あり	55.8分	45.8分
予約なし	66.8分	65.5分

3. 当院の選択理由

当院の選択理由をお聞きしたところ、「家や通勤先などが近い」とお答えいただいた方が最も多く、次いで「良い医師がいる」「医療施設や設備が良い」が上位となっています。「良い医師がいる」は前回調査より4.7ポイント上昇し、大変光栄に思います。

有効回答数 694人



単位:%(複数回答) 当院(前回) 当院(今回) 調査病院平均値

4. 施設面満足度

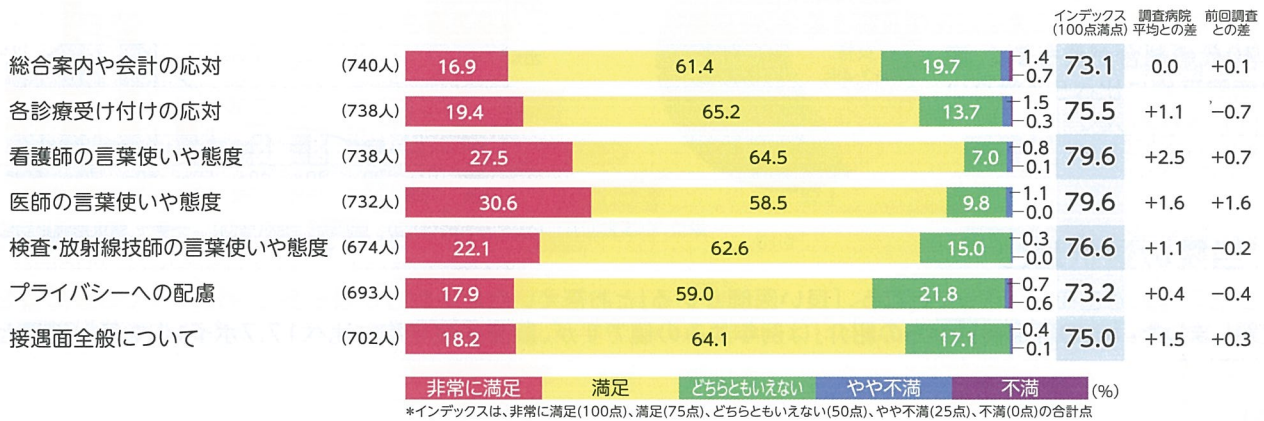
全ての項目で調査病院の平均を上回る結果となり、「施設面全般について」は、約80%の方に「満足」と感じていただけました。一方で、「駐車場の広さや入りやすさ」「交通の便利さ」「売店、食堂、自販機」については「不満」の方が多く、できることから少しずつ改善していきたいと思えます。

項目	回答者数	非常に満足 (%)	満足 (%)	どちらともいえない (%)	やや不満 (%)	不満 (%)	インデックス (100点満点)	調査病院平均との差	前回調査との差
交通の便利さ	(685人)	18.7	49.2	20.7	7.4	3.9	67.8	+1.8	+1.1
駐車場の広さや入りやすさ	(706人)	14.7	53.5	18.7	10.5	2.5	66.9	+10.9	+0.4
建物の外観やつくり	(714人)	15.3	64.6	19.9	0.3	0.0	73.7	+8.4	-0.4
総合待合室の設備や雰囲気	(731人)	12.4	65.4	20.8	1.2	0.1	72.2	+3.9	-1.9
各科の待合室の設備や雰囲気	(713人)	12.2	60.9	25.0	1.8	0.1	70.8	+3.9	-0.7
トイレや洗面所設備	(723人)	13.0	61.5	21.0	3.7	0.7	70.6	+4.1	-1.4
売店、食堂、自動販売機	(669人)	8.7	52.8	32.4	5.5	0.6	65.8	+3.7	-2.2
案内看板や表示のわかりやすさ	(722人)	11.1	59.3	27.4	1.9	0.3	69.7	+3.0	-1.1
清潔感	(722人)	16.3	64.7	17.9	1.1	0.0	74.1	+4.4	-1.2
施設面全般について	(710人)	12.7	66.2	20.3	0.7	0.1	72.6	+5.3	-0.6

非常に満足 満足 どちらともいえない やや不満 不満 (%)
 *インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点

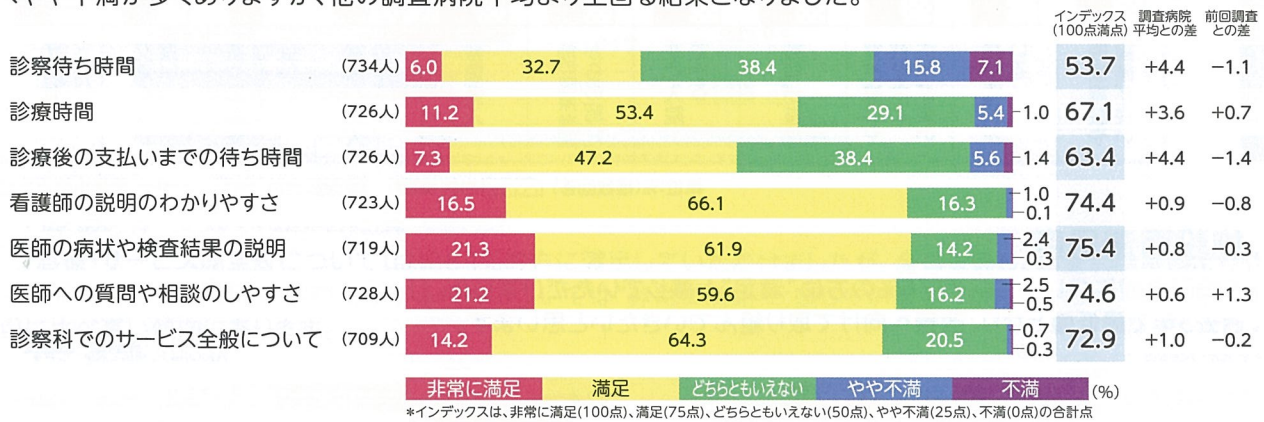
5. 接遇面満足度

医師、看護師の「言葉遣いや態度」が満足と感じていただけた割合が高い傾向にあります。



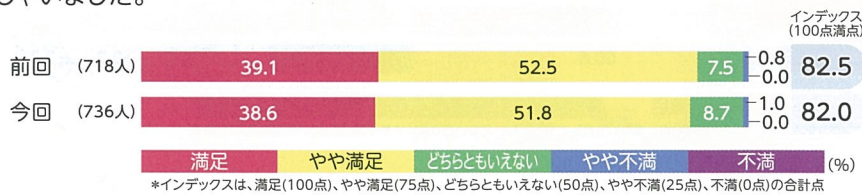
6. 診察・サービス面満足度

「診療科でのサービス」では、約79%の方に“満足”と感じていただきました。「待ち時間」については、他の項目に比べやや不満が多くありますが、他の調査病院平均より上回る結果となりました。



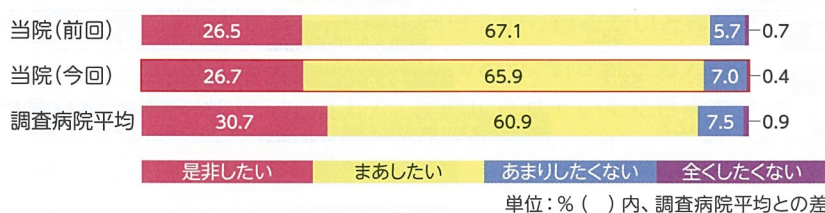
7. 全体満足度

「当院について、総合的にはどう思われますか」とお聞きしたところ、全体の約90%の方が“満足”と感じていらっしゃいました。



8. 紹介・推薦意向

「知人などに当院を紹介や推薦したいと思いますか」とお聞きしたところ、「是非したい」、「まあしたい」合わせて約93%でした。一方、「あまりしたくない」「全くしたくない」の割合は前回より若干増加しました。

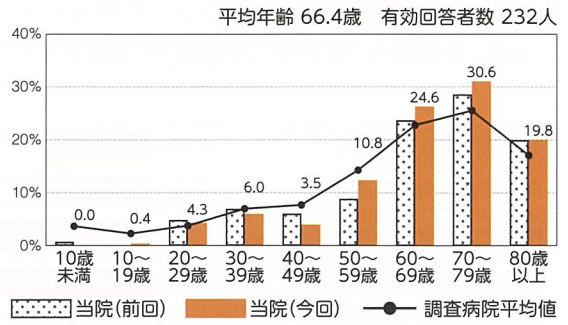
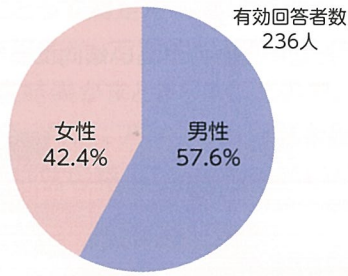


患者さん満足度調査の結果

平成28年10月1日～11月30日実施 回答者数245人

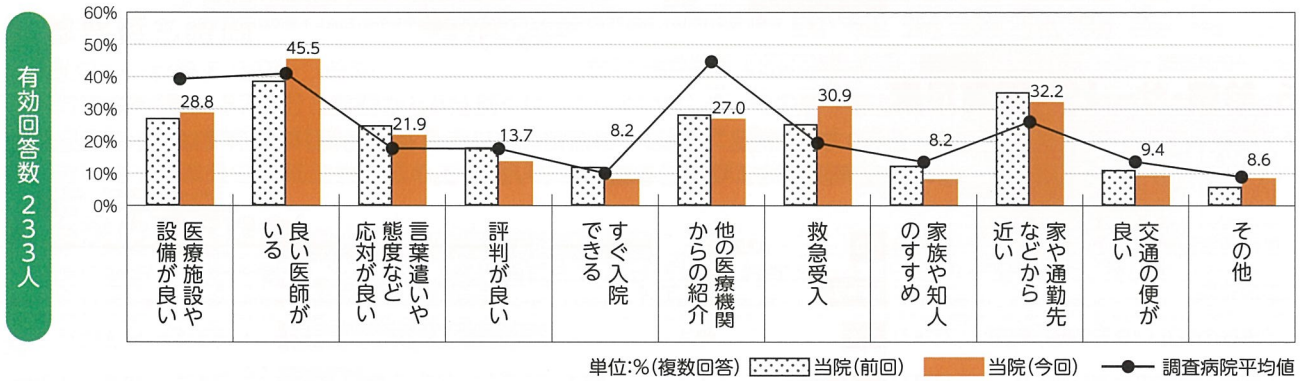
1. 回答者の性別・年齢

男女比は、やや男性が多く、平均年齢は66.4歳でした。
70代の割合が最も多く、調査病院平均に比べ5.4歳高い傾向がありました。



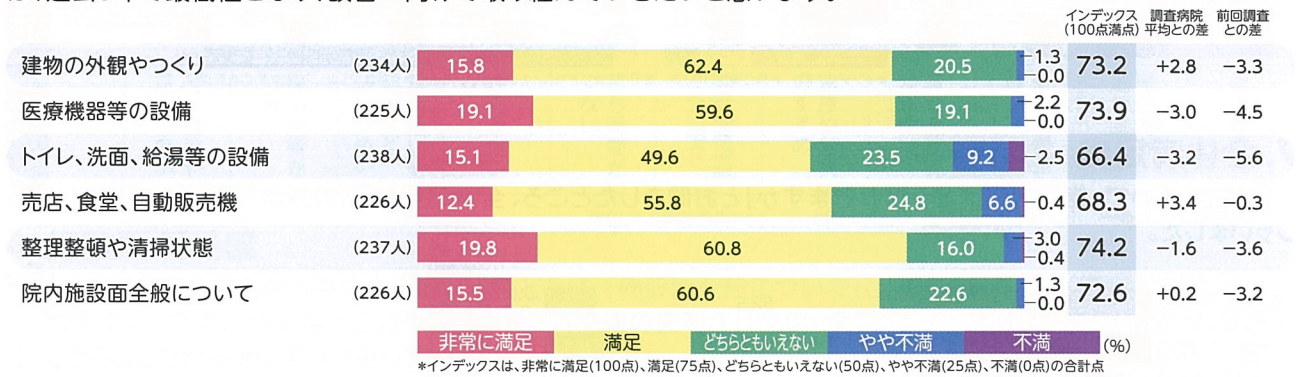
2. 当院の選択理由

当院の選択理由をお聞きしたところ、「良い医師がいる」とお答えいただいた方が最も多く、過去3年でも最高値を記録しました。「他の医療機関からの紹介」は例年並みの値ですが、調査病院平均に比べ17.7ポイントも低い結果となりました。



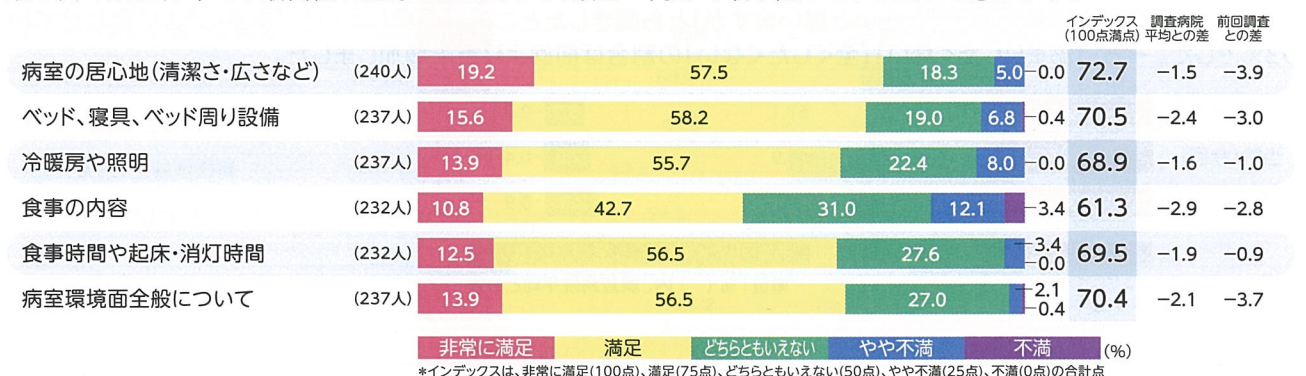
3. 施設面満足度

「施設面全般について」は、約76%の方に「満足」と感じていただきました。「トイレ、洗面、給湯等の設備」については、過去3年で最低値となり、改善へ向けて取り組んでいきたいと思ひます。



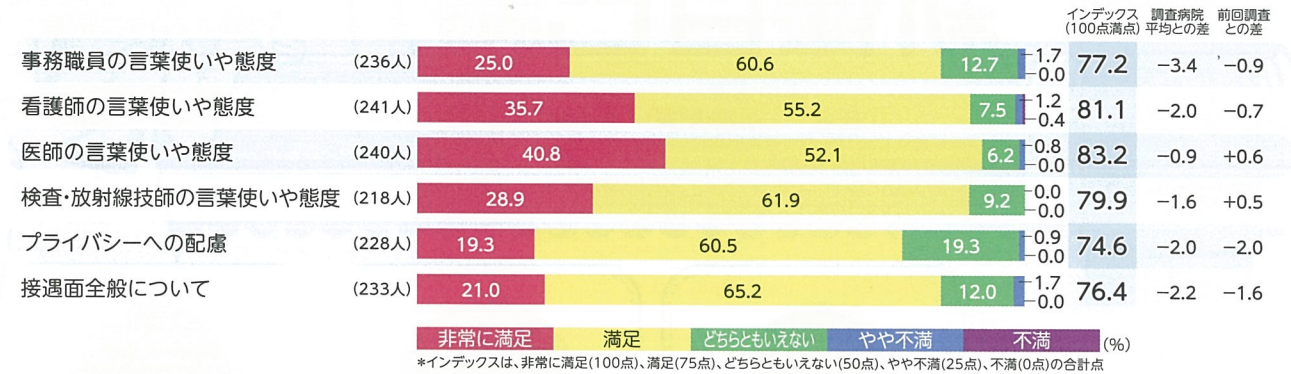
4. 病室環境面満足度

「病室環境面全般について」は、約70%の方に「満足」と感じていただきました。「食事の内容」については、6項目中最も低く、過去3年でも最低値を記録しましたので、改善へ向けて取り組んでいきたいと思ひます。



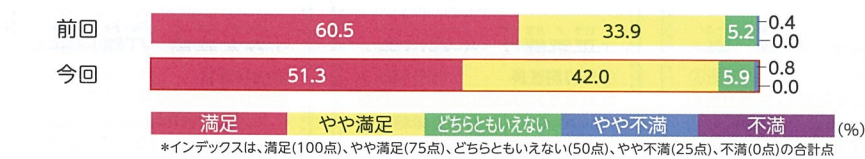
5. 接遇面満足度

「接遇面全般について」は、約86%の方に「満足」と感じていただきました。「プライバシーへの配慮」「事務職員の言葉遣いや態度」については「どちらとも言えない」という回答が目立ち、今後も職員の意識改善に努めます。



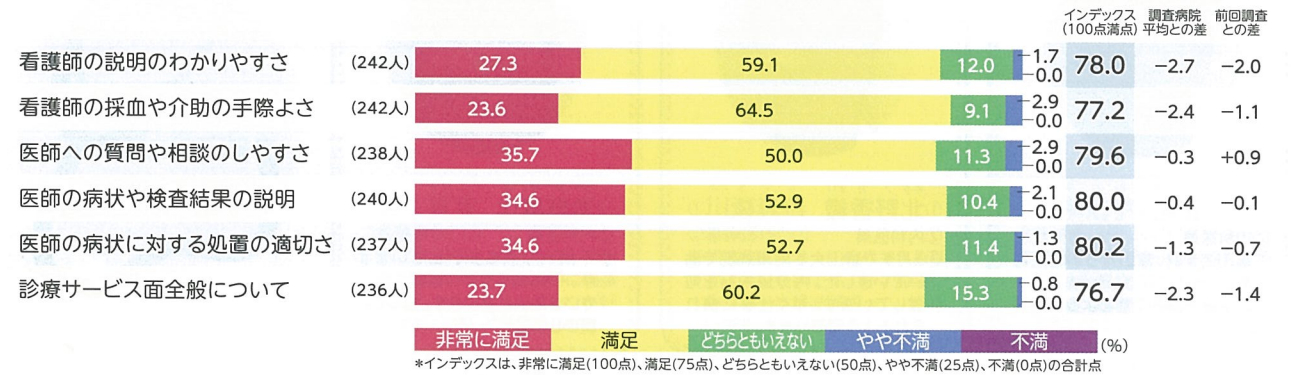
6. 全体満足度

「当院について、総合的にはどう思われますか」とお聞きしたところ、全体の約93%の方に「満足」と感じていただきましたが、前回調査より2.7ポイント低い結果となりました。



7. 診療・サービス面満足度

「診療・サービス面全般について」は約84%の方に満足していただきましたが、全体を通し、調査病院平均よりやや低い結果となりました。医師に関連する内容については「非常に満足」と感じていただけた方が約34~35%と他の項目に比べ高い傾向にあります。



おわりに

今回の調査では、外来待ち時間の長さが目立ちました。喫緊の課題として、院内のワーキンググループを立ち上げ、早々に改善策を検討します。また、トイレ・洗面・給湯・駐車場などの施設面や、食事の内容に対する満足度が低いことを憂慮し、改善に向けて取り組みたいと存じます。

一方、医師に対するご評価は改善しており、引き続き努力したいと思います。調査項目以外にもたくさんの貴重な自由意見をいただきました。参考にさせていただきます。

今後も職員一同改善に向けて努力してまいります。ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

NEW FACE PROFILE

新任自己紹介

①氏名 ②所属(配属) ③抱負・自己PR等



オオサワソウシ
①大澤宗士
②外科医長
③外科医15年目です。皆様が安心して外科治療が受けられるよう一期一会の精神で頑張ります！



ヒラノ カツヒサ
①平野勝久
②外科副医長
③みなさまのお役に立てるようがんばります。なんでも気軽に相談してください。



ヤスマトユキエ
①安本幸恵
②内科医員
③この度新規採用いただきました、腎臓内科の安本です。医師5年目もマイペースですが頑張ります。



ホリ マサカズ
①堀 正和
②内科医員
③富山生まれ、富山育ちの堀正和です。地域に根ざした、あたたかな医療を提供できるように頑張ります！



キタノ カオリ
①北野香織
②内科医員
③3月まで富山大学附属病院で働いていました。内分泌内科を勉強しています。早く仕事に慣れられるよう頑張ります。



フチノ マミヨ
①湊野真代
②内科医員
③不慣れな点も多いと思いますが、一生懸命日々の診療に臨んでいきたいと思っています。宜しくお願いします。



オオムラ ヨシユキ
①大村佳之
②内科医員
③医師3年目の大村といいます。初期研修では東京秋葉原にある三井記念病院にいました。精一杯がんばります。宜しくお願いします。



セキ ノゾム
①席 望
②初期臨床研修医
③患者さんの心に寄り添えるような医師を目指し、絶えず研鑽していきます。皆様の応援よろしくお願ひします。



モト ノゾム
①元野 壮
②初期臨床研修医
③よき臨床家となるよう日々努力してまいります。趣味はピアノと空手です。よろしくお願ひします。

MEDICAL TECHNICIAN
医療技術員



ハヤシ カツノリ
①林 克紀
②薬剤師
③他県で経験を積み、地元である富山に戻ってきました。地域に貢献出来るように、誠心誠意努力していきたいです。



アライ ユリ
①新家由莉
②薬剤師
③病院実習や国家試験の勉強では十分でないと思いますので、一つ一つ学んでいこうと思います。よろしくお願ひします。



オカモト マサユキ
①岡本昌幸
②診療放射線技師
③色々な経験を積んで、病院に貢献できるような一人前の放射線技師になれるよう頑張ります。



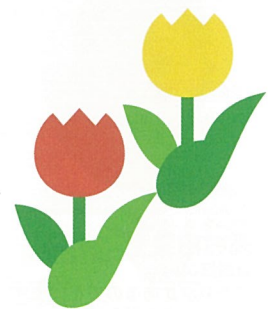
フミノ ユキノ
①布目雪乃
②臨床検査技師
③患者さんに安心して検査を受けていただける臨床検査技師を目指し、日々邁進したいです。よろしくお願ひします。



モリカワ ユウコ
①森川宥子
②理学療法士
③済生会富山病院の理学療法士として、自分のできることを精一杯頑張ります。ご指導の程よろしくお願ひ致します。



ミナミ ミキコ
①南 幹子
②理学療法士
③富山に住んで3年目になります。人も自然も大好きになり、2年前に家建てました。仕事ではやる気・根気・元気に頑張りたいです。



NURSE
看護部



カネ ナツミ
①金 夏実
②看護師(SCU)
③SCUに配属となり、不安と緊張でいっぱいですが前向きに頑張ります。アウトドアスポーツが好きです。よろしくお願ひします。



カワセ マナ
①川瀬真奈
②看護師(SCU)
③患者さんにとって安心できる存在になりたいです。日々勉強しながら一生懸命頑張っていきたいです。



クロキ ユウカ
①黒木佑宇香
②看護師(3F)
③笑顔を忘れず、一日一日を大切に、患者さんに寄り添う看護師になれるよう努めていきたいです。



オクダ ワタル
①奥田 航
②看護師(3F)
③今年から宜しくお願ひします。分からないことは納得がいくまで調べたり質問したりしたいと思います。どうか嫌にならないで下さい。



シマダ キョウカ
①島田京香
②看護師(3F)
③思いやりの心をもった看護師になれるよう、日々の学びを大切に頑張ります。よろしくお願ひします。



デグチ アキホ
①出口彰敏
②看護師(3F)
③患者さんに寄り添い、笑顔を届けるような看護師になれるよう頑張ります。



センコウ マミ
①専光麻美
②看護師(4F)
③患者さんに寄り添える看護ができるように、日々頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。



マンバラ シオリ
 ①松原汐里
 ②看護師(4F)
 ③少しでも早く業務を覚え、看護師として貢献できるよう努力していきたいと思います。よろしくお願いします。



サワタニ タカノリ
 ①沢谷尚則
 ②看護師(4F)
 ③患者さんに安全な医療の提供ができるよう日々努力していきたいと思います。よろしくお願いします。



アマタニ アイ
 ①網谷 葵
 ②看護師(4F)
 ③幅広い知識や技術を身につけ、笑顔で患者さん、家族に寄り添うことのできる看護師になりたいです。



タナカ
 ①田中まこ
 ②看護師(4F)
 ③患者さんと良いコミュニケーションを楽しみ、知識・技術を身に付け、一步一步看護師として成長していきます。



タカムラ ユミコ
 ①高村由美子
 ②看護師(4F)
 ③ブランクがあるので不安ですが、早く仕事を覚え、患者さんや御家族に寄り添った看護ができるよう、頑張ります。



ナガモリ ミホ
 ①永森美帆
 ②看護師(5F)
 ③一人の人間として患者さんに心を寄せ、真摯に向き合う看護師を目指します。よろしくお願いします。



ヤマグチ ミヤコ
 ①山口美弥子
 ②看護師(5F)
 ③患者さんや家族が安心して入院生活、退院後の生活が送れるように支援できる看護師を目指し日々頑張ります。宜しくお願いします。



タケウチ アイ
 ①竹内 愛
 ②看護師(5F)
 ③笑顔を忘れず、患者さんに寄りそう看護ができるよう、一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



ムラカミ ユミコ
 ①村上久美子
 ②看護師(5F)
 ③患者さんや家族の気持ちに寄り添えるよう、日々努力していきたいと思います。よろしくお願いします。



オノ アイリ
 ①大野愛莉
 ②看護師(7F)
 ③期待と不安でいっぱいですが、先輩方を見習い日々努力していきたいと思っています。よろしくお願いします。



アオキ シオリ
 ①青木詩央里
 ②看護師(7F)
 ③私は看護師として知識・技術の向上を目指し、良質な看護を提供できるよう努めていきたいと思っています。



オカダ ナオユキ
 ①岡田尚之
 ②看護師(7F)
 ③何事にも諦めず最後まで挑戦し続けることが私の長所であると思います。一日一日を大切に看護師として成長していきたいです。



コ ナカユウカ
 ①小中佑華
 ②看護師(7F)
 ③動作が遅いと言われるので、テキパキ行いつつ、正しい判断ができるよう、頑張ります。

C L E R K
事務部



モトヒラ ヒデナリ
 ①元平秀成
 ②事務部長
 ③行政で保健・医療・福祉に20年余携わりました。前向きに一つ一つ取り組みます。よろしくお願いします。



クリモト ミキ
 ①栗本実希
 ②診療情報管理士
 ③一つでも多くのことを学び、自分自身のスキルを上げていけるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

済生会富山病院では 無料・低額診療事業を実施しています



無料・低額診療事業とは、医療費を

減額

免除

できる
制度です。



生計困難な方が経済的理由により、必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、
無料・低額な料金で治療を受けていただく制度です。

例えば

このような時にご相談ください

- 病気や障害、失業などで収入がなくなり、医療費の支払いが困難な方
- 「医療費が払えない」と、治療を受けずに悩んでいる方

利用方法

利用にあたっては、一定の条件がありますので、まずは医療福祉相談室へご相談ください。お問い合わせはお電話でもお受けいたします。

相談窓口

医療福祉相談室(1階26番)
TEL 076-437-1111(代)
月～金 8:30～17:30

毎月第2火曜日に
無料・低額診療
相談会を実施しています

場所:医療福祉相談室 時間:9:00～12:00

相談は
無料です

済生会について

明治44年2月11日、明治天皇は、時の総理大臣桂太郎を召されて「恵まれない人々のために施薬救療による済生の道を広めるように」との済生勅語に添えて、お手元金150万円を下賜された。桂総理はこの御下賜金を基金として、全国の官民から寄付金を募って、同年5月30日恩賜財団済生会を創立した。

以来今日まで105年、社会経済情勢の変化に伴い、存廃の窮地を乗り越えるなど幾多の変遷を経ながらも、本会は「施薬救療」をいう創立の精神を引き継いで、保険・医療・福祉の充実・発展に必要な諸事業に取り組んできた。

戦後、昭和26年に公的医療機関の指定、同27年に社会福祉法人の認可を受け、現在、社会福祉法人恩賜財団済生会となっている。

第6代総裁に秋篠宮殿下を推戴し、会長は有馬朗人、理事長は炭谷 茂が就任している。東京に本部を置き、40都道府県に支部がある。全国で79病院、18診療所、職員数は5万9千人。



明治天皇



理念 患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さん本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さんの権利宣言

本院では“患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さんと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

① 個人としてその人格を尊重される権利

患者さんはひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。

② 質の高い医療を公平に受ける権利

患者さんは、適切で質の高い医療を、公平に継続して受ける権利があります。

③ 十分な情報を知り、説明を受ける権利

患者さんはご自身が受けている医療について知る権利や診療情報の開示を求める権利があります。また、その内容や危険性、他の方法の有無と長所・短所などについて、患者さんが分かる言葉で、十分に理解できるまで説明(インフォームドコンセント)を受ける権利があります。

④ 選択の自由と自己決定する権利

患者さんは、病院や医師を自由に選択し変更する権利と他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。また、分かりやすい説明を受け十分納得された上で、ご自身が検査や医療を選択する権利、あるいは拒否する権利があります。

⑤ プライバシーが守られる権利

患者さんは、ご自身に関する個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。

患者さんには、私たちが良質で安全かつ効率的な医療の提供を実践するために、次のことをお願いします。

- ご自身の自覚症状、病歴や服薬歴などをできるだけ正確に伝えてください。
- 診療、療養中におけるご自身の希望を遠慮せずに伝えてください。
- 他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたすことがある場合には、ご協力をお願いすることがあります。



済生会富山病院報
くすのきだより

発行者

富山県済生会富山病院
院長 井上 博

【編集委員会】 風 間 泰 蔵 南 沢 宏
松 倉 裕 喜 久 保 道 也 加 藤 智 代
堀 田 裕 子 西 川 和 良 神 保 江 梨 香
谷 内 隆 浩 佐 々 木 正 詞 関 岡 綾 子
池 下 美 沙 紀 福 富 幸 恵 高 畑 優 子

平成28年度
ご寄付のお礼

藤城 正様 上澤 英頭様
真木 茂様 石黒 重男様
中川 清一様 高利 仁子様

貴重なご厚志
ありがとうございました。